

科目名	精神看護学演習 I Psychiatric Nursing Seminar for Certified Nursing Specialist I
授業形態	講義(20%)・演習(80%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期 ABC 応談
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問することmori@md.tsukuba.ac.jp sugaya@mdtsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1)精神看護の専門看護師による介入が必要な状況にある患者と家族の事例について、科学的・論理的な視点からアセスメントし、看護介入方法を立案できる (2)(1)の内容を発表し、科学的・論理的な視点から討議し、考察できる (3)精神療法による介入が必要な事例について介入方法を立案できる (4)(3)の内容を発表し、科学的・論理的な視点から討議し、考察できる (5)精神看護専門看護師による介入が必要な事例に対する看護実践上の課題や方向性、今後のあり方を提示できる (6)精神療法を実施する際の課題ウア方向性を提示できる
他の授業科目との関連	精神看護専門看護師養成課程 必修科目
履修条件	精神看護専門看護師養成課程履修希望者は必修 精神看護学分野で看護科学特別研究を受講する者は履修することができる
授業概要	精神看護の専門看護師によるケアとケアを融合した高度な看護介入が必要な患者やその家族に対するアセスメントと具体的な看護介入方法、精神療法による介入方法について、事例展開と討議を通して学ぶ。
キーワード	アセスメント、看護介入、精神療法
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。演習の時間を設ける。 1(精神の健康の増進及び病気の予防-アセスメントと看護介入) (森 千鶴) 2(急性期の患者のアセスメントと看護介入) (森 千鶴) 3(回復期精神障害者のアセスメントと看護介入) (菅谷智一) 4(慢性期精神障害者のアセスメントと看護介入①) (菅谷智一) 5(慢性期精神障害者のアセスメントと看護介入②) (森 千鶴) 6(リエゾン領域におけるアセスメントと看護介入) (森 千鶴) 7(精神療法の技法-認知行動療法) (森 千鶴) 8(精神療法の技法-SST・心理教育) (森 千鶴) 9(精神療法の技法-リラクゼーション法、自律訓練法、漸進的筋弛緩法) (菅谷智一) 10(精神療法の技法-暴力への介入) (森 千鶴)
学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法	講義(20%)と演習(80%)を併用する 課題学習を行う。課題はあらかじめ提示する 日ごろから、専門看護師による介入が必要な事例・事例展開に関する文献、精神療法による介入事例等の文献を講読およびクリティークする。
成績評価方法	2/3以上の出席を以て単位取得の要件とする 評価基準 1. 適切な事例を設定できる 2. 設定した事例の問題の背景を説明できる 3. 設定した問題に対してどのような課題があるのかを指摘できる 4. その解決策について先行研究がどのように述べているのかを挙げる事ができる 5. 既存の意見を踏まえて、自らの考えを述べる事ができる 上記を踏まえて A+ 上記1~5を自身の臨床経験を踏まえて達成できる A 上記1~5をほぼ自身で達成できる B 上記1~5を教員の指導を受けながら達成できる C 上記1~5を教員の指導を受けながら概ね達成できる D 上記1~5について教員の指導の基でも達成できない
教材・参考文献・配布資料等	
その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	エビデンスの高い論文を読み、論理的にまとめた上でプレゼンテーションを行う 自ら積極的に学び、科学的・論理的な視点を持って討議に参加すること